

書名 項目	中学音楽 音楽のおくりもの	17 教 出
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「Let's try 指揮をしてみよう」では、指揮の基礎から合唱の指揮までのポイントが楽譜とともに記載され視覚的に学ぶこともできる。 ○各教材には、新しく出てきた音楽用語や記号がそのページ内で確認できるように記載されていて、学びやすく工夫されている。 ○「sing!sing!」では、歌うための準備（ストレッチ等）や、基礎的な技能、表現の創意工夫の仕方が示され、教科書に書き込みながら学習できる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○創作では、身近なワードを使って、リズムや言葉の抑揚を生かした表現活動ができるようワークシートが工夫されている。 ○「Active!」には、音楽を形作っている要素を元に、楽曲を分析する際の視点が示されており、書き込みながら分析できるように工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○表現の工夫や作品の良さについて話し合ったり、創作した作品の交流で新たな発見や知識の共有をしたりしながら、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮されている。 ○世界の様々な芸能や音楽、ポピュラー音楽など幅広いジャンルの音楽に触れることで豊かな情操を培えるよう、配慮されている。 </p> <p> <音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○歌唱の基礎や発音、変声についての説明があり、練習方法も載っている。 ○歌唱教材は、音域も適切で、曲種も幅広い。様々な角度から音楽に触れ、曲想に応じた表現を模索することで音楽的な力を高められる。 ○「音のスケッチ」では、活動の手順を提示し、テーマや言葉、リズムと関連づけながら、生徒が工夫しながら創作できるように工夫されている。 </p> <p> <生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○「私たちの暮らしと音楽」では、著作権について示し、具体的なケースを取り上げて、より身近なこととして捉えられるようにしている。 ○空間を多くの人と共有することのできる生の音楽の良さや、音楽文化との多様な関わり方を取り上げ、豊かな関わりを促している ○SDGs と音楽の関わり、アウトリーチや音楽を通じた教育活動について取り上げ、本物に触れたり、音楽に関わる活動や経験の大切さを考えたりでできるよう工夫されている。 </p>	

資 料	<p>○楽器の紹介が確認できるようになっている。</p> <p>○巻末楽典のページでは、教材と関連付けながら、速度や強弱が図の矢印や色の濃淡で表現されていて、変化が見てわかりやすい。</p>
表記・表現	<p>○UD フォントを使用している。</p> <p>○目次や各ページの見出し（課題）は、表現、創作、鑑賞ごとに色分けされ、区別しやすくなっている。</p> <p>○鑑賞教材には、ページの側面に音楽年表が示され、作曲者の活躍した時期がわかるようになっている。</p>
総 括	<p>○「学びMAP」では、年間の学習内容を関連付けて示し、表現と鑑賞がバランスよく配置されている。</p> <p>○様々な音楽を比較して学習し、それぞれの良さと違いを知り、理解を深められるようになっている。</p>

書名 項目	<h1>中学生の音楽</h1>	27 教 芸
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「指揮をしてみよう！」では、全学年に指揮の基本と、既習内容に沿った活動が載っている。専門的な指揮法をわかりやすい言葉で解説しており、指揮者からのアドバイスによって基礎的な技能の習得や曲の表現方法の工夫に繋がりがやすくなっている。 ○「音楽を形づくっている要素」では、楽譜やイラストで、それぞれの要素がイメージしやすいようにしている。 ○「My Voice！」では、豊かな歌声づくりのためのポイントがわかりやすく明示されており、技能の習得に繋がりがやすい。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びのコンパス」では、歌唱や鑑賞教材を例に、音楽を形づくっている要素に焦点をあて、実際の表現に活かせるよう工夫されている。個の学びを共有し、自他の敬愛や協力を重んずる態度が養われるよう配慮されている。 ○各教材には、音楽を知覚する際の焦点が示されており、「思考力・判断力・表現力」を意識しながら取り組むことができる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」では、中学生が演じている写真やインタビューを掲載し、伝統芸能への興味・関心を高める工夫がされている。 ○「世界の諸民族の音楽」では、世界地図の上に伝統楽器が写真で配置されており、興味・関心を高める工夫がされている。 ○様々なジャンルの音楽や、それぞれの関わりや繋がりに触れ、多様な音楽に触れることができ、豊かな情操を培えるよう配慮されている。 <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「リズムゲーム」「リズムチャレンジ」でリズムの記譜方法を学び、創作教材「My Melody」では、個の基礎力を習得し、「Let's Create!」では、協働的な創作活動を体験し、系統立てて学習できるように工夫されている。 ○各歌唱教材には、どのような点に気をつけながら歌えばよいかが示されており、曲にふさわしい表現を生徒自身に考えさせるよう工夫している。 <p><生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生活や社会の中の音や音楽」では、オンラインでの生配信や、リモート演奏、SDGs の観点等新しい音楽と生活との関わり方を紹介している。 ○著作権や著作隣接権について示し、SNS 等での配信時の音源利用についても触れられている。ルールを守りながら音楽を楽しむことは、様々な権利を守ることに繋がるということを考えられるよう工夫されている。 	

資 料	<p>○各教材のページに学習目標・音楽を形づくっている要素が示されている。巻末にも楽典や音楽を形づくっている要素について記載されており学び易い。</p> <p>○「社会を映し出す音楽」では、音楽作品や演奏曲が柔らかいイラストと共に紹介され、様々な音楽に出会えるよう工夫されている。</p>
表記・表現	<p>○UD フォントや、認識しやすい色づかいをする等の工夫をしている。</p> <p>○目次や各ページの見出し（課題）は、表現、創作、鑑賞ごとに色分けされ、区別しやすくなっている。</p> <p>○教材に関連する音楽用語や記号が該当ページに示されるとともに、巻末にも「音楽の約束」として楽典資料が掲載され、活用しやすい。</p>
総 括	<p>○表現と鑑賞がバランスよく配置され、目次とは別に、年間の学習内容を3つの分野で分け、俯瞰して見通せるよう工夫がされている。</p> <p>○我が国や、諸外国に伝わる様々な音楽が掲載され、その良さを感じ取りながら表現活動に取り組み、音楽文化の理解を深めるための工夫がされている。</p>